

「ほらほら〜ロレ
見てくださーいよせんぱあ〜い」



カ
チ
...

「つちやお～～～!!!!」

パ
タ
ン
…

「なんでそつ閉じするんスカ!?!
せめて何か言つてくださいよ!
せんぱあ～～～!!!!」



か
千
ャ
…

「何やってんだお前……」



「せんぱいこういうの好きかと思つてえ
あれ?これ
ほどけな
助けてく
せんぱい
ささい!!
せんぱい
あ〜い!!」

「バカかお前は!?!」

「はあくやつと解けた・・・」

「まったく何もたもたしてんすか！
女の子がピンチしてんすから
とつと助けてくださいよー！！！」

3

「お前が勝手にやったんだらろうが
…ところでなんだその首のやつ？」



「あ！そうだ！せんぱあゝい
海行きましよー！！海い！」

「海い？」



「ジヤジヤーン!!
実は私もう水着買ったんすよお〜!」

ガ
ッ
ッ!

「ちよー!おまっ!」

「なあ〜に
慌ててんすかあ〜
ただの水着つすよお〜水着
部活で見ただでしよお〜」

「水着つたってお前…」



「これ背中と首と胸に繋がってるんですけどよー
ほらほらあー…」

スル…

「……お前自分で照れてねえか？」



「は？照れてないっすけど！
私照れさしたら大したもんですよー！ー！」

「なんで切れてんだよー！」



「照れてるのは先輩のほうでしょ！
ちよつと目つぶつて待っていてくださいー！」

「うや……なんで？」

「怖いなら別にいっすよ
照れたのは先輩つてことでー！」

「わかったよ……」

しゅるるる
ギョギョギョー！

「はいーもういいっすよー！」

バツッ!

「ほらー！これならどううつつスかー！」

3
キキキ

キキキ

「・・・お前それほどけるのか？」







「いたつー！いたた！
そこはちよ……！……！……！引つ張らないでー！」

「ぐめんなさー！せんぱい……！ぐめんなさー！」



「せんぱあ……
……いー！」

「いや…ほんとにっ…!」

「待って!先輩!
ギブっス!ギブ!」

「やめ…」



おまけツス先輩

